

Zygnemales の新分類法、新舊分類法の比較、結果等 28 頁からなり、8 表及び 2 圖を含んでいる。

接合藻類 (Conjugatae)、特に鼓藻類 (Desmids) は以前には主として形態學的性質に依つて分類されて來た。然し、著者は接合子 (Zygospore) の生ずる位置、配偶子の分裂の型式等によつて分類することにより、この類の系統發生學的過程も知られるとして新しい分類法を提唱し之を“Cross-check method”と呼んだ。

この方法によれば接合藻は 4 群に分けられる。即ち、配偶子の中に接合子の生ずるもの (Endozygospore 群、之を A とする)、配偶子の外部に生ずるもの (Exozygospore 群、B)、及び、配偶子の接合の時、配偶子は細胞半 (semi-cell) に分裂しないもの (Undivided 群、a) 細胞半に分裂するもの (Divided 群、b) の 4 群である。更にこの 4 群は 2, 3 の性質で細分されている。之を系統的に見ると B と b の組合わせは A と a との組合わせよりも種々の點でより長く進んだものであると云う。

之等の觀點から著者は Zygnemales の中に 4 新族 (tribe)、*Mougeotieae*、*Zygonieae*、*Zygnemeae*、及び *Spirogyreae* を作った。鼓藻類には以前には 2 科が知られていたが著者は *Closteriaceae*、*Hyalothecaeae*、*Cosmariaceae* の 3 新科を加え、又 8 新族、*Spirotaenieae*、*Mesotaenieae*、*Hyalothecaeae*、*Gymnozygeae*、*Decidieae*、*Sphaerosomeae*、*Cosmarieae* 及び *Euastreae* をこの中に入れた。そして、科、族の排列は A a から種々變化して B b に至るまでの系統發生の段階を考えて行われている。

特に *Hyalotheca*、*Spondylosium*、*Desmidium* 及び *Gymnozyga* の 4 屬は *Cosmarium* (ツヅミモ) より高等とされていたが、著者は色々な點からツヅミモ屬の下に之等の屬を置き、*Roya* も又接合子の性質等により *Closterium* (ミカヅキモ屬) の近くにおいている。

(阪井典志雄 北大理學部植物學教室)

## 學會錄事

去る 8 月 2 日、本學會並びに北海道日高地區理科部會及び様似町教育委員會の共催で、北海道日高郡様似町に於て海藻採集會を行い講師として本會幹事 中村義輝氏が出席、採集指導及び採集物處理法等につき講習を行つた。出席者は日高地區の小、中學校教員並びに漁業會員等二十數名頗る盛會であつた。